

団体戦実施規程

1991 年度より実施、逐次部分修正（最終改定 2023/05/20）

- 1 チーム編成
男子は2D1S, 女子は3D
- 2 参加資格
 - a) 協会会員登録済の者。登録クラブに関係なく選手の貸借自由
 - b) 異性チームへの参加は不可
 - c) 申し込み時にチーム最低人員に満たないものは不可。大会当日病欠などによる人員不足の場合は、他チームにエントリーしていない協会登録者を不足数分を限度として追加メンバーとして認める。なお、追加メンバーを含めてもチーム最低人員に満たない場合は、第9項により人数不足チームとして正式参加可
- 3 部分け、リーグ分け
 - a) 上から1部、2部、3部……とし、各8チームで構成する。
 - ① 1部は上位4チームをSリーグ（ブロック）、下位4チームをBリーグ（ブロック）と称す。
 - ② 2部以下は4チームずつ同格に分け、A・Bリーグ（ブロック）と称す。
 - b) 最下部のチーム数は、3～10チームとする。
 - c) 1部は少なくとも一方がリーグ不成立の場合（2チーム以下）、上下のSBを合併し、全6チームの場合は3チームずつの同格ABブロック分けし、5チーム以下の場合は合併1リーグとする。
 - d) 2部以下については1つの部内を2つのリーグに分け、2項配慮（①同じクラブの対戦の回避および②前大会での対戦相手の回避）により、競技委員会（組み合わせ会議）において、リーグ分けを決定する。不可の場合は抽選とする。
参加チーム数が6個の場合3+3とするが、順位決定戦は行わないこととする。
参加チーム数が5個以下の場合は合併1リーグとする。
 - e) 大会後の部の昇格・降格は、次の通りとする。
 - ① 1部Sリーグ…1位チームは市川市クラブ最強チーム、4位チームは1部Bリーグに降格。
 - ② 1部Bリーグ…1位チームはそのリーグの優勝とし昇格、3位および4位チームは2部に降格。（3位は2部Aに、4位は2部Bに）
 - ③ 1部が合併した場合は、欠場チームのうち下位2チームが2部に降格。
 - ④ 2部以下…各リーグ1位チームはそのリーグの優勝とし昇格（2チーム優勝）、各リーグ4位チームは降格（A4は下部のB1に、B4は下部のA1に）大会後の新しい部は昇格2チーム、降格2チーム、残留4チームの8チームで構成し、同一部内には順位を付さない。
 - f) 新A1, 新B1決定後のABの2～4の分け方
○残留A2, 残留B2を、決定済の各1に対して、2項配慮をしてAorBを決する。
『2項配慮とは、同じクラブ同士の対戦を避ける → 前回対戦済を避ける』
2項配慮が不要の場合、不可能な場合は抽選によって決する。
○次に残留A3, 残留B3を、決定済の各1, 2に対して、2項配慮をしてAorBを決する。
2項配慮が不要の場合、不可能な場合は抽選によって決する。
○さらに昇格2チームを同様に決する。
○いずれの場合も2項配慮が不可能な時、前段階の抽選結果を逆にすることで解決する場合は、前段階の抽選結果を逆にする。解決しない場合は前段階に遡ることなく抽選とする。
- 4 欠場チームの扱い
 - a) 欠場1回目は、組み合わせ作業時は参加とみなして行い、結果最下位として降格する。
 - b) 2回連続欠場はチーム抹消とするが、詰め上げることはしないで、組み合わせ作業を行う。
- 5 抹消チームがあった場合の取扱い
 - a) 抹消チームがあった大会の成績により、大会後の新しい部において、その下位部以下の降格チーム数を減らすことにより調整する。（降格決定戦の実施）
 - b) 欠場・抹消チームが3個以上ある場合、その直下部からの昇格チーム数を増やすことにより調整する。（昇格決定戦の実施）
- 6 新規チームの扱い
 - a) 最下部から参加する。

- b) ブロック分け、組合せなどは、既存チームの最下ランクの状況と新規チームの個数を考慮し、競技委員会にて協議決定する。

7 試合方法

- a) 3対戦予定の場合は、21点3ゲーム、延長は25点を上限、3組完遂、図a
 b) 2対戦予定の場合は、21点3ゲーム、延長は30点を上限、3組完遂、図b
 c) 4対戦予定の場合は、21点2ゲーム、ファイナル11点、延長なし、3組完遂、図c
 d) 昇・降格決定戦は3組による駅伝戦とする（20点+15点+15点、延長なし）
 e) 確保したコート数及び時間によって、ポイントを短縮することがある

<試合番号の付け方>

a					b				c						
	①	②	③	④		①	②	③		①	②	③	④	⑤	
①		6	2	3	①			3	1	①		10	5	2	8
②	6		4	1	②	3			2	②	10		7	4	1
③	2	4		5	③	1	2			③	5	7		9	3
④	3	1	5							④	2	4	9		6
										⑤	8	1	3	6	

8 複数チームを有するクラブに関する事項

- a) 上位部チームを欠場させる場合、参加申込書に、旧上位部チームのメンバーは1人までしか下位部チームのメンバーに記入できない（2人以上のときは、下位部チームを欠場させて上位部チームを参加させる）。なお、チーム抹消の場合はこの限りでない。
 b) 試合結果によっては上位チームと下位チームのランキングが逆転することがあるが、その場合次大会におけるチーム名の呼称（クラブ名+A, B）の変更は、そのクラブの自由とする。

9 人数不足のチームの扱い

- a) 最低人員に足りなく、男子は3or4名、女子は4or5名の場合、そのチームをオープンチームと称するが、正式参加として成立するものとする。
 b) 不足が発生した時点（朝又は大会中）で、全対戦チームの代表者に連絡発表する。そのチームは直後のチーム対戦から残りのチーム対戦全てオープンチームとなる。（エントリー済みであればその後出場した選手の正式試合の出場は可能）
 c) オーダー票におけるオープンペアの位置
 ・ 2人以下の不足の場合、オープンペアは第1ダブルスとする。
 ・ 3人以上の場合は、第1ダブルス及び、女子は第2ダブルス、男子はシングルスオープンとする。チームは不成立となり、全試合棄権負けとする。
 ・ 代理選手は真剣に第2ゲームまですること。
 d) 代理選手は同性の者とし、自チームの選手以外でも可とする他、特段の条件を設けない。

10 ペナルティー

- a) オーダーに記載された選手が該当する試合（D or S）開始時に不在の場合、そのチーム対戦については0-3の負けとなり、試合はオープンとして実施される。他のチーム対戦には影響しない。
 b) 悪意のある意図的な不正行為に対しては、その日の全対戦を0-3の負けとする。替え玉行為は、通常の降格に加えて更に1部降格させる。

11 その他

- a) 賞状は発行しない。
 b) 服装は常識の範囲内とする。
 c) 小中高生のオーダー票制限……小中高生はオーダー票に2名まで記名できる。
 d) 抹消チームの譲渡（チーム名変更）は認めない。
 e) 組み合わせ決定後の戦略的なメンバー変更は認めない。